

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 リサージェンス・ファイアー エイチエスティー	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.500	△RG 0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：リサージェンス・ファイアー エイチエスティー

フレアーの幅
[] インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離
4-1/2 インチ

MB 4in 1/2

比較対照ボール：ザ・モーメンタム・エイチエスティー

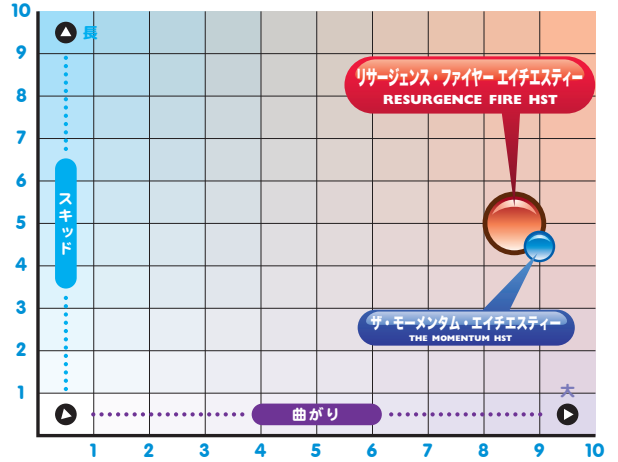
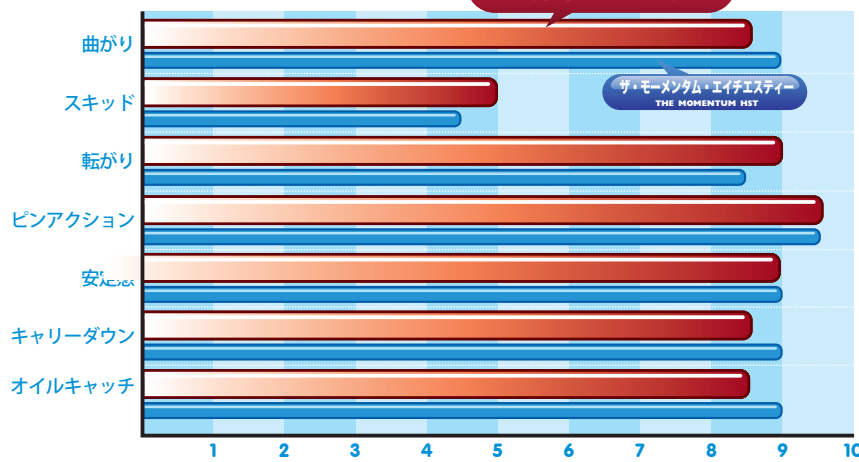
フレアーの幅
[] インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離
5 インチ



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

昨年9月にピンに当たった時に衝撃をコントロールさせるHyper Shock TechnologyがSWERVEによって発表されました。そのシステムはSWERVE FX、International製品のTHE Momentum HSTにも搭載され、Columbia製品=ピンアクションが良いという印象を多くのユーザーが持たれていることはTHE Momentum HSTの販売個数のスピードにも表れ、15Pは早いうちの完売が見受けられました。今回リリースするRESURGENCE FIRE HSTはColumbia社で最も角がでて入射角が大きいHi-Dynamix Coreを心臓部に搭載し、攻撃的にラインを攻め、aggressiveに入射角を取りながらピンを倒していくボールとして日本限定のInternational製品として開発されます。

今回ABSボール開発チームはほぼピンポイントでこのRESURGENCE FIRE HSTをオーダーすることを決めていました。それはHi-DynamixのCore Technologyが持つmotion potentialとHyper Shock Technologyの融合は間違いがない揺るぎないPerformanceは安易に想像が付き、あとはどの領域にあわせてCoverstockを調合させるかどうかでした。そのCoverstockは曇っていてキャッチさせるのではなく、ポリッシュ状態でオイル上でもグリップさせる特殊配合を施したもので、オイルにも強くドライゾーンでHi-Dynamix Coreのネジレをしっかりと角がでるイメージで表せる領域にあわせてあります。皆さんも実際に投球してみれば、入射角の鋭さからのピンアクションの良さはもちろんのこと、大きく幅を取りながら出し戻すラインやオイルの中を泳がせて薄めにヒットさせたときのピンとの絡み具合も”絶妙”と感じるほど、Medium HeavyからMediumにかけて類をみないボールとして認識して頂けると幸いです。

特記事項

Columbia社で最もbackendの角がでるHi-Dynamix CoreとHyper Shock Technologyとの組み合わせです。入射角の良さ=HSTでさらにColumbia社のピンアクションの良さを感じて頂けると幸いです。